

3年保育5歳児 まつ組

平成26年10月16日(木)

在籍 35名

担任 村上 佳織

保育補助 高木 淳子

保育補助 乙訓 弘美

1 主な活動 『お助けドンジャンケン』(校園庭)

2 幼児の実態(9月上旬)

- (体を動かすことへの取組:◎ 遊び:○ 人との関わり:● 生活:☆ 学級で取り組む活動:□)
- ◎うんてい、登り棒、鉄棒などの固定遊具やなわ跳びに取り組み、できるようになったことを喜んだり、自分のめあてをもって繰り返し挑戦したりしている。また、友達と一緒にサッカーや鬼ごっこ、折り返しリレーをして、競争したり、チームの勝敗がついたりすることを楽しんでいる。
 - ◎自分たちなりに遊びのルールを考えたり、審判をしたりしながら、体を動かす遊びを楽しんでいる。
 - 友達と一緒に遊びに必要な物を作りながら、レストラン、家などの共通のイメージで、ごっこ遊びをすることを楽しんでいる。また、本物らしく作るために材料を選んだり、友達と作り方を相談したりしながら、遊びを進めようとしている。
 - 友達に、自分の思いや考えを伝えて遊んだり、生活したりする姿が見られる。その一方で、自分の思いが強いため、相手の話を聞こうとしなかったり、伝わっているかどうか確かめなかったりすることがある。遊びを通して、友達と相談する機会を重ねたり、トラブルになったときに自分たちで解決しようとしたりする中で、互いの思いを受け入れることの必要性を感じられるようになってきた。
 - ☆一日の生活の流れについて、教師の話の聞いたり、表示を見たりして、自分なりに見通しや期待をもって過ごしている。グループでの当番活動や、集まる、片付ける、食事のあいさつなどの時間に気付いて、友達に声を掛けて知らせながら進めようとする姿が増えている。
 - ☆増築工事による環境の変化に伴い、戸外への行き方、階段や廊下を静かに通るなど、生活の約束を確認しながら過ごしているが、中には約束を忘れて過ごす姿も見られる。安全の意識をもてるよう、その都度声を掛けたり、学級全体に投げかけたりすることで、気を付けようとしてきている。
 - 学級や学年の課題に向けて、自分の力を出すとともに、同じグループやチームの友達と仲間意識をもちながら、協力したり、みんなと気持ちを合わせたりすることを楽しんでいる。

3 期のねらい(5歳児 Ⅲ期 9月上旬～10月下旬)

- 自分なりの課題をもって遊びに取り組み、自分の力を出していくようにする。
- 友達の思いやイメージを受け入れながら、共通のめあてに向かってグループで遊びを進めていく楽しさを味わうようにする。
- 園全体や学級ですることが分かり、自分の力を出してやり遂げた喜びを味わう。
- 学級みんなですることを楽しみながらつながりを深めたり、自分の力を伸ばしたりしていくようにする。
- 自分たちの生活に見通しをもち、必要なことに気付いて自分たちで進めていこうとする。

4 週のねらい

- 自分なりの目的をもって、体を動かして遊びを楽しむ。
- 友達と声を掛け合いながら、生活に必要なことを進めていこうとする。
- 互いの考えを出し合い、友達とイメージを共通にしながらか遊ぶことを楽しむ。

5 本時のねらい

- 友達とジャンケンをして、素早く判断し、逃げる、捕まえるなどの動きを楽しむ。
- 同じチームの友達と仲間意識をもち、自分の力を出しながら友達を助けたり、助けてもらううれしさを味わったりする。

6 期待する主な動き

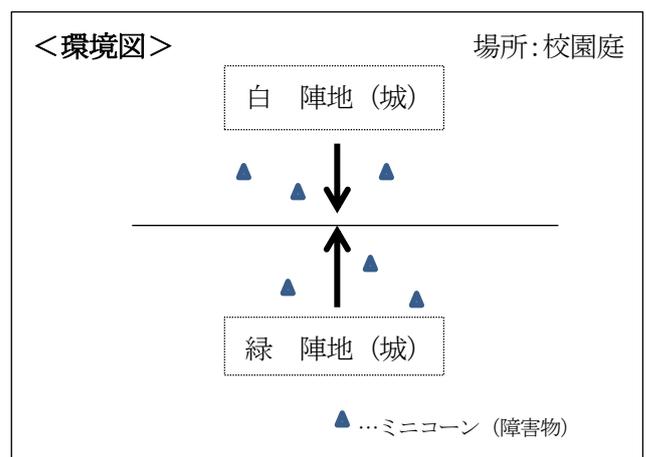
- ・追いかける ・捕まえる ・逃げる ・止まる ・避ける ・跳ぶ

7 研究主題との関連

【研究主題に迫るための工夫点・具体的手立て】

- ・年中時から『忍者鬼』として、助け鬼の鬼ごっこを楽しんできた。『お助けドンジャンケン』では、忍者のイメージを膨らませ、仲間を助けることや、素早く動くことの楽しさを味わいながら、遊ぶことができるようにする。…**イメージ**
- ・ジャンケンの勝敗によって、動きが変わる楽しさやスリル感がある。相手の動きを見る、隙をついて進むなど、自分なりに考えながら、いろいろな動きを選択して遊ぶことができる。…**自由性・選択性**
- ・『友達を捕まえる』『捕まらないように逃げる』『友達を助ける』『助けさせないよう邪魔する』など、自分なりの動きを楽しむ姿を認めながら、周りの幼児のよい動きを取り上げたり、投げかけたりして、幼児が次回への意欲をもてるようにする。…**目標**

<ルール>	
○	2チーム（白・緑）に分かれて、「お助けドン」の合図で、中央のラインに集まる。
○	相手チームとジャンケンをする。
・	勝→相手を捕まえる。
・	負→自陣のラインまで走って逃げる。
○	捕まえられたら、相手チームの陣地に入る。
○	仲間を助けるときは、相手陣地に向かいながら、相手とぶつかったらジャンケンをする。
○	助けた仲間と手をつないで、自陣に戻る。



8 展開 校園庭 12:20～13:00

時間	幼児の活動	経験してほしい内容	ねらい達成のための教師の援助
12:20	<ul style="list-style-type: none"> ○校園庭に集まる ○『なれるぜ忍者なろうぜ忍者』のリズムをする ○『お助けドンジャンケン』をする ・教師の話を聞く ・チームに分かれる ・ジャンケンをする ・追いかけたり、逃げたりする ・仲間を助ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲に合わせて、体を動かす ・ジャンケンの勝敗が分かって動く ・相手チームの友達を捕まえたり、捕まらないように逃げたりする ・障害物にぶつからないよう避ける 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>*イメージをもって動きを楽しめる援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師も一緒に曲に合わせて動き、忍者のイメージがもてるようにする。 <p>*動きの自由さや選択性が保障された環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に友達を助けようとする姿を認めたり、励ましたりする。 ・自陣にいる幼児には、仲間が捕まっていることを知らせたり、助けやすいタイミングを促したりし、自分から陣地から出ようとする意欲をもてるようにする。 </div>

